

国立がん研究センター  
「早期がん診断のための血液バイオマーカーの探索と臨床性能の検証」  
研究に参加された患者様へ

2016年12月28日から2026年3月31日までに、国立がん研究センター中央病院、東京歯科大学千葉病院・市川総合病院・水道橋病院、東邦大学病院、日本医科大学病院、国立大阪医療センター、兵庫医科大学病院、横浜市立大学病院、横浜中央病院、大阪大学歯科病院、北里大学北里研究所病院、北里大学病院、神戸大学医学部附属病院、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、東京医科大学病院で外来通院、健診受診、入院をされ、本研究に参加された患者様の試料・情報を、医薬基盤・健康・栄養研究所プロテオームリサーチプロジェクトにおいて、使用させていただきます。

その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下のお問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供をしてほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

早期がん診断のための血液バイオマーカー探索と臨床性能の検証

研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所  
プロテオームリサーチプロジェクト プロジェクトリーダー

共同研究機関の研究責任者

本田 一文：日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野 教授

本研究の目的

がんは、手術手技や放射線療法・化学療法の進歩にも関わらず、未だ多くの症例において予後が不良な悪性腫瘍です。さらに進行したがんにおいてはその再発率の高さから患者の負担も大きくなります。したがって、早期発見、新規治療法の開発、個人に合わせた治療選択法の開発は急務です。

多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

本研究では、最新のプロテオーム解析技術を使い、ヒトの血液検体から種々のがんの早期診断に有用なタンパク質を発見することを目的としています。

### 試料・情報の収集期間および研究期間

2016年12月28日から2026年3月31日までに採取（収集）した血液を調査対象とします。

医薬基盤・健康・栄養研究所での研究期間は2018年倫理委員会承認後から2026年3月31日までです。

### 研究の方法

#### 【研究対象者】

2016年12月28日から2026年3月31日までに、国立がん研究センター中央病院、東京歯科大学千葉病院・市川総合病院・水道橋病院、東邦大学病院、日本医科大学病院、国立大阪医療センター、兵庫医科大学病院、横浜市立大学病院、横浜中央病院、大阪大学歯科病院、北里大学北里研究所病院、北里大学病院、神戸大学医学部附属病院、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、東京医科大学病院で外来通院、健診受診、入院された患者様が対象です。

#### 【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血液（血清、血漿）、年齢、性別、臨床診断名、がんの既往、身長、体重、血液検査データ 等

#### 【研究方法の概要】

上記の医療機関で採取された血液から、医薬基盤・健康・栄養研究所においてタンパク質を抽出し、質量分析計を使って、がんの診断に役に立つタンパク質を探索します。遺伝子解析は実施しません。

### 試料・情報の提供について

試料は宅急便で、情報はメールで日本医科大学から医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。

### 個人情報の取り扱い

個人情報は、日本医科大学と上記の各医療機関で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。

また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

### お問い合わせ先

日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野 教授 本田一文

〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-5-1

電話：03-3822-2131

医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト プロジェクトリーダー

足立 淳

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

電話：072-641-9811 内線 3209